

# センリョウの優良品種の選抜と 育苗等栽培技術の開発

鹿島地帯特産指導所

## 1 背景と目的

センリョウは正月に縁起物として飾られる日本の伝統的な花木です。

本県のセンリョウは東京都中央卸売市場の取扱数量の約60%を占め、全国的にも圧倒的な占有率を誇ります。全国一の生産県の位置を確保し、有利販売を進めていくため、収量・品質に優れる県オリジナル品種を育成しました。

平成24年に品種登録出願公表となり、本年度から産地への導入を進めています。

## 2 研究成果の概要

「紅珠」(コウジュ)、「黄珠」(オウジュ)は、昭和60年より現地センリョウの在来種73系統の中から選抜した品種です。

「紅珠」「黄珠」はともに可販枝数が多いため、在来種より収量性に優れます。また、枝長が長いことや房数が多いことなど、高品質なセンリョウとなる特徴を備えています(写真1、表1)。

実の大きさや付き方が良好なことから生産者の評価も高く(表2)、上位等級を狙える品種として産地からは期待されています。

## 3 実用化に向けた対応

「紅珠」「黄珠」は、選抜の段階から生産者とともに選んできた品種です(写真2)。また、市場評価においては、特に高級品を扱う市場から高い評価を受けました(表2)。

センリョウは播種から収穫までに長期間を要するため、市場への本格販売には5年以上かかります。

本年度から産地とともに本品種の生産面積の確保や販売に向けたPR活動などを計画的に行っており、センリョウのブランド化を進めていきます。



写真1 「紅珠」(左)と「黄珠」(右)

表1 現地試験における収穫調査

品種名	実の色	収量性*		房数 (房/枝)
		(可販枝数/ 本)	枝長 (cm)	
紅珠	赤	9.7	91.0	6.1
在来種		7.2	86.0	5.0
黄珠	黄	8.0	89.8	5.3
在来種		5.8	87.3	4.7

※H18~21年の3年間の積算値

表2 生産者及び市場評価※

品種名	生産者評価				市場 評価
	総合 評価	実			
		房数	大きさ	実付き	
紅珠	2.3	2.5	2.4	2.5	5
在来種	1.5	2.0	2.2	2.0	3
黄珠	2.0	2.0	2.0	2.0	4
在来種	1.0	1.2	1.5	1.0	3

※生産者評価：1：悪い、2：良い、3：非常に良い  
市場評価：0：非常に悪い～3：普通～6：非常に良い。



写真2 生産者による系統選抜の様子

### 生産現場の声

この品種は、選抜の段階から関わって生まれたものなので、千両生産部会でもこの品種の導入を積極的に進めていきます。また、市場評価も高いので、差別化した販売ができます。5年後の本格販売に向けてPR活動等を行い、センリョウのブランド化に取り組んでいきます。